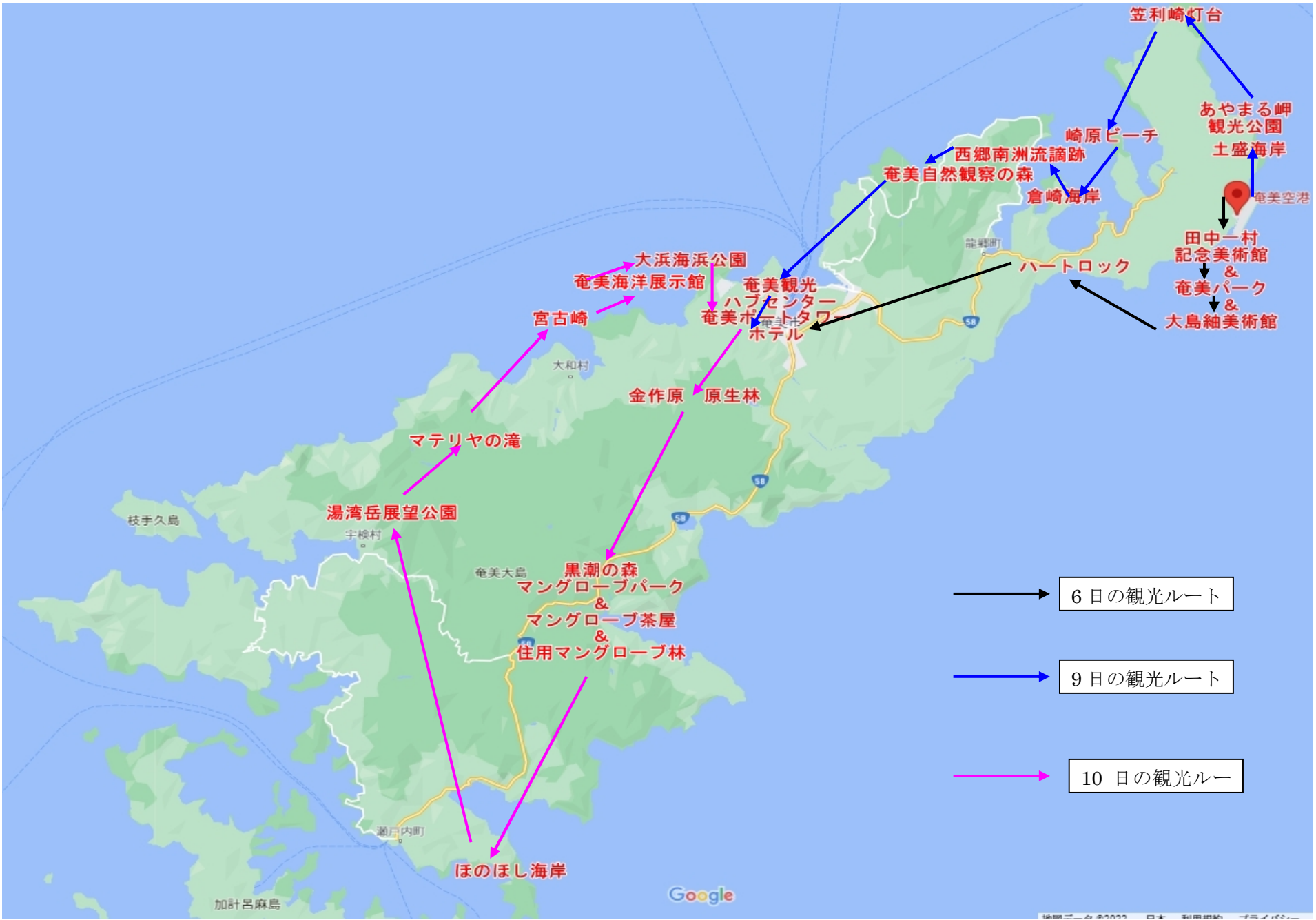


奄美大島観光計画案内



観光ルート

2月6日(日) 奄美大島

14時にレンタカーで観光に出発 → 6分,3km 田中一村記念美術館 → 2分,500m 奄美パーク → 4分,2.7km 大島紬美術館 → 6分,4.6km ハートロック → 32分,21km 奄美ポートタワーホテル 18時チェックイン その後夕食
奄美大島での地図上の走行距離 : **31.8km** ・ 走行時間 : **50分**

2月9日(水)

ホテルを7時15分に出発し8時に徳之島空港着(23km,33分)9時15分に出発、9時45分に奄美大島空港着。 レンタカーを借りて観光に出発。
7分,3.9km 土盛海岸 → 4分,2.1km あやまる岬観光公園 → 13分,8.6km 笠利崎灯台 → 27分,15.6km 崎原ビーチ → 24分,13.7km 倉崎海岸 → 21分,13.4km 西郷南洲流謫跡 → 13分,3.6km 奄美自然観察の森 → 45分,25.7km 奄美観光ハブセンター → 2分,700m 奄美ポートタワーホテル 18時着 その後夕食
奄美大島での地図上の走行距離 : **87.3km** ・ 走行時間 : **2時間36分**

2月10日(木)

レンタカーで7時半にホテルを観光に出発 → 47分,17.5km 金作原原生林 → 1時間19分,38.2km 黒潮の森マングローブパーク → 3分,500m マングローブ茶屋 → 2分,1.1km 住用マングローブ林 → 36分,26.5km ほのほし海岸 → 1時間5分,38.1km 湯湾岳展望公園 → 34分,9.5km マテリアの滝 → 24分,15.4km 宮古崎 → 17分,11.3km 奄美海洋展示館 → 1分,270m 大浜海浜公園 → → 15分,7.2km 奄美ポートタワーホテルに帰着 18時予定
奄美大島での地図上の走行距離 : **165.6km** ・ 走行時間 : **5時間23分**

2月11日(金)

ホテルを9時に出発し10時に空港到着(31km 44分)、レンタカーを返却。 飛行機出発まで空港で待機。

観光地概要

1. 田中一村記念美術館

田中一村記念美術館は、奄美の自然を描いた日本画家田中一村のコレクションを常設展示している美術館です。地元の素材をふんだんに使い、奄美の高倉をイメージした展示室には、一村の東京時代、千葉時代、奄美時代の作品約80点(年4回展示替え)を随時展示しており、日本画家田中一村の画業に触れることができます。その他、館内の企画展示室では、奄美にちなんだ催しも開催しています。

明治41(1908)年、栃木県に生まれる。幼少の頃から画才を発揮し、若くして南画家として知られる。18歳、東京美術学校に入学するが2ヶ月で中退。以後、中央画壇と一線を画し、50歳を過ぎて独り奄美へ移住。紬工場で染色工として働きながら絵を描き続けた。東京、千葉を経て、この奄美

の地で亜熱帯の鳥や自然を描き日本画の新境地を開いたが、作品を発表することなく 69 歳の生涯を終えた。

2. 鹿児島県奄美パーク

「鹿児島県奄美パーク」は、航空跡地を利用した、奄美の魅力を知ることができる施設。奄美がこれまで辿ってきた歴史や人々の暮らしの様子を、映像や模型などを通して学ぶことができます。奄美シアターでは、高音質なサウンドで奄美の動植物が遂げてきた進化を学ぶことができます。奄美のジャングルに行く前に予備知識をつけておくと、より散策を楽しめるでしょう。

3. 大島紬美術館

着物愛好家なら誰もが憧れる大島紬。織り子が織りなす精巧な緋織りは、機械には決して真似のできない芸術品と呼ぶにふさわしい風格と魅力を備えています。ここ大島紬美術館では、大島紬の変遷をたどる歴史的な作品から、現代の名工が凝らした最新作まで展示されており、見学することができます。

4. ハートロック

赤尾木(あかおぎ)集落の東側に面する海岸にあり、干潮のときにだけ姿を現すハート型の潮だまり。恋愛のパワースポットとして話題になり、撮った写真を携帯電話の待ち受けにすると恋が叶うとか。

きれいなハートの見頃は、潮位 80cm 以下の干潮時、前後 1 時間で波が穏やかな時です。あらかじめ潮見表(外部サイトへリンク)を確認してから見学に行きましょう。特に、1 月～3 月はハートがアオサに囲まれて、緑と青のコントラストがとてもきれいです。

道路からビーチに出るまでの小道も緑の草木が生い茂り、素敵な風景です。大河ドラマ「西郷どん」の撮影もこの小道で行われました。

5. 土盛海岸

奄美空港から車で約 6 分、白い砂浜とエメラルドグリーン美しい海を満喫できる土盛ともし海岸。地元ではブルーエンジェルとも呼ばれています。

土盛海岸の美しさは奄美大島の中でもトップクラスで、アクセスの良さとその美しさで観光客にも大人気のスポットとなっております。

土盛海岸はリーフに囲まれた遠浅なので、浅瀬では砂地が多く、海水浴やシュノーケリングを楽しむことができます。また、浅瀬から徐々に沖へ進むとサンゴ礁が広がっており、干潮時になると潮だまり(タイドプール)ができ、かわいいお魚たちを見ることがもできます。

6. あやまる岬観光公園

「あやまる岬観光公園」は、奄美十景にも選ばれている人気の観光スポット。あやまるとは手毬という意味で、その名の通り、半円の綺麗な形をした海岸です。こちらの敷地内のソテツジャングルには、貝塚遺跡もあります。

こちらのスポットは、遊具などの施設もあるので子ども連れの家族にもおすすめのスポット。100 円～とお手頃の価格でレンタルできる、様々な形をした自転車もあります。また、海中プールと呼ばれる海水浴ができる場所もあり、波もなく、海水浴にはぴったり。シャワーや更衣室も完備されてい

て安心して楽しめます。

7.笠利崎灯台

奄美大島の最北端に吹き抜ける海風を感じながら大海原を眺めることができるスポット・笠利崎灯台があります。笠利崎灯台は奄美空港から車で約 20 分。県道 601 号線を北へ進むとたどり着くことができます。笠利崎灯台は笠利町用集落の岬にあるため、地元では用岬灯台と呼ばれ、親しまれています。笠利崎灯台は奄美近海を通る船にとって重要な役割を果たしており、昭和 37（1962）年 3 月 31 日から点灯しているそうです。灯台のある山を登れば、目の前に広がる広大な太平洋を一望することができます。

8.崎原ビーチ

白い砂浜と透明度抜群のエメラルドグリーンに輝く海が美しい崎原さきばるビーチ。奄美空港から車で 20 分弱で到着するととても美しいビーチですが、目的地の崎原海岸に近づく一部の道路がかなり狭いため、運転の苦手な方は少し躊躇してしまうのが難点。

しかし、その狭き道路を通り抜けた先には、真っ白な砂浜にエメラルドグリーンに輝く海が目の前に広がってきます。道路事情や周囲に観光客向けの施設が充実していないため、利用客も少ない穴場的なスポットとなっております。

白い砂浜がパウダー状で手触り最高！の崎原ビーチはプライベートビーチ気分を味わえる素敵なビーチです。

9.倉崎海岸

「倉崎海岸」は、名瀬市外から車で約 30 分、奄美空港からも車で約 30 分のところにある海岸です。奄美大島ではトップクラスの人気を誇り、エメラルドグリーンの美しい海や円弧を描く真っ白なビーチは訪れる人を心から魅了します。遠浅でなおかつ内海なので波が穏やか。つまり、ダイビングやシュノーケリングをする際に絶好のポイントということです。また、海岸を歩けばサンゴのかけらをあちこちで見かけます。空港から 30 分ほどの位置にありながら、まるでプライベートプールのような静けさを持つ、デートにおすすめのスポットです。

10.西郷南洲流謫跡

「西郷南洲」は、実際に西郷隆盛が 3 年間奄美で過ごした場所。奄美で共に過ごした女性の子孫が管理している施設です。現在は資料館になっているので、西郷隆盛が奄美でどのような生活をしていたか知ることができます。

こちらには、西郷隆盛直筆の書が展示されています。実際に西郷隆盛が息子の子育てのため、自ら台風の被害が少なそうな土地を選び設計し建てたもの。駐車場もあるので、車で行くことも可能です。

12.奄美自然観察の森

「奄美自然観察の森」では、奄美大島に古くから生息する植物を、自然そのままの形で観察することができます。遊歩道は整備されているので、子ども連れでも安心。フィールドアスレチックや昆虫の森などの施設も完備されています。お子さまの自由研究にもおすすめです。

こちらの展望台からは、龍郷湾に広がる奄美大島の島々を一望することができます。天気の良い日には透き通った海も見ることができますので、ぜひ一度行ってみたいはいかがでしょうか。

13.奄美観光ハブセンター

沖縄や奄美、吐か喇[とから]の島々に生息する猛毒蛇ハブ。ハブの毒の恐ろしさ、驚異的な生命力と繁殖力を知ることができる。2階ではハブ対マングースの決闘ショーのビデオ放映を随時行っている。みやげコーナーには財布などのハブ皮製品やハブ酒、ハブ粉などが豊富に揃う。

14.金作原 原生林

「金作原」は、奄美大島の中でも亜熱帯の植物が多く残っている原生林。こちらのスポットは、2019年2月から認定ガイドのツアーでのみ利用することができるようにルールが変更になりました。そのため、個人でこのエリアに入ることは禁止なのでお気をつけください。

ジャングルの中には、生きた化石とも言われているヒカゲヘゴなどの大変貴重な動植物が生息しています。耳を済ませると、聞いたことのないような鳥や動物の鳴き声が聞こえてきます。まるで太古の時代に迷い込んだような、貴重な体験を楽しんでみたいはいかがでしょうか。

15.黒潮の森 マングローブパーク

「黒潮の森 マングローブパーク」は、マングローブの中をカヌー体験できる、人気のスポット。こちらの施設では、大変珍しいリュウキュウアユが展示されています。

マングローブカヌー体験では、マングローブ国立公園特別保護地区の中を散策することができます。プロのインストラクターの方がついてくれるので、初心者の方でも安心してカヌーの旅をすることができます。比較的手頃な価格で体験できるのも、人気の理由のひとつです。

16.マングローブ茶屋

奄美大島の国立観光公園マングローブ茶屋は、そのマングローブ原生林の高台に位置し、その周底には観光遊歩道、展望台を有し、原生林散策・バードウォッチング・ボートでジャングルめぐりなど冒険いっぱいの楽しい旅の思い出づくりをガイドいたします。

カヌーツーリング、観光遊覧船、ボートツーリング、奄美自然観光ゾーン、このほか、観光案内も致します。

17.住用マングローブ林

「住用マングローブ林」は、国内では2番目の大きさを誇るマングローブ原生林です。役勝川と住用川が合流する河口付近には、71ヘクタール以上の広大なマングローブの原生林が広がり、国立公園特別保護地区に指定されています。

展望台へと足を運べば広々としたマングローブ林を一望できますが、もっと近くで見たい人にはマングローブカヌーツアーがおすすめです。複雑に入り込む原生林の中をカヌーで観光できるので、奄美大島で人気の高いツアーです。半日あれば楽しめるのでぜひ参加してみましよう。

18.ホノホシ海岸

「ホノホシ海岸」は、奄美大島で有名なパワースポット。太平洋に面しているこちらの海岸は、波も荒く、海に入るのは少し危険なエリアです。荒波で洗われた丸石がガラガラと音を立てて動くところから、神秘的な雰囲気を感じることができます。

ホノホシ海岸の石は持ち帰ってはいけないという言い伝えがあるほど、こちらのスポットはエネルギーに溢れた場所です。持ち帰ると不運なことが続くとのことなので、お気をつけください。海岸自体は海も透き通っており綺麗な場所です。人も少なく、穴場の海岸で大切な人との時間をより濃密なものにしてくれることでしょう。

19.湯湾岳展望公園

奄美群島最高峰の湯湾岳は、標高 694m。奄美大島の開祖といわれるシニレク、アマミコが降り立ったといわれる霊山です。頂上近くには神社があり、周りには貴重な動植物が多く生息し観察できます。※頂上付近全体が国定公園特別保護地区に指定されてます
湯湾岳展望台から見る眺望は絶景！

20.マテリヤの滝

「マテリヤの滝」は、奄美らしい綺麗な滝。高さはそれほどないものの、周りの木々と相まってとても幻想的な雰囲気です。夏には滝壺で泳ぐこともできます。亜熱帯植物と滝の前で泳ぐという、貴重な体験をすることができます。

10分ほど歩く必要があるおかげで、観光客があまり訪れない穴場エリアに。とても静かで、滝の音や鳥のさえずりをゆったりと聞き込むことができる、癒しのスポットです。奄美の大自然があなたの日常の疲れを癒してくれるでしょう。

21.宮古崎

「宮古崎」は、名瀬から車で約 30 分、さらに遊歩道を 20 分ほど歩いた先にある、東シナ海を一望できる奄美大島の絶景スポットです。知る人ぞ知る場所ですが、大河ドラマ「西郷どん」のロケ地に使用されたことで注目を浴びつつある場所です。

あたり一面にはリュウキュウチクという草が生い茂り、まるでどこかの草原にでもいるかのような錯覚におちいるほどです。さらに目の前には東シナ海の大海原が広がり開放感いっぱい。また、夕暮れ時には、沈みゆく太陽で真っ赤に染まる東シナ海の絶景を一望することができます。

22.奄美海洋展示館

「奄美海洋展示館」は、奄美空港から車で約 1 時間 10 分、名瀬の中心地からは車で約 15 分のところに位置する大浜海浜公園内にある海の展示館です。奄美大島の海に生息する生き物はもちろん、そこで生活する人々の暮らしぶりをも知ることができ、子どもから大人まで楽しめます。

入り口正面にある奄美の海を模した大型水槽では、悠々と泳ぐウミガメや熱帯魚などを見ることができます。また、エビやカニなど、人々の暮らしに馴染み深い生き物が見られる小さめの水槽もあります。そのほか、貝殻や珊瑚を使ってオリジナル作品が作れるハンドクラフト体験もおすすめです。

23.大浜海浜公園

「大浜海浜公園」は、青い海と白い砂浜がある地元の人にも人気のある公園。敷地内には、亜熱帯地方に生息するガジュマルなどが植えられており、南国の雰囲気になります。奄美海洋展示館では、奄美大島付近に住む魚たちやウミガメに直接餌やり体験をすることができます。こちらの公園は、ウミガメの産卵シーンをみることで有名なスポット。年々産卵率が下がってはいるものの、毎年数多くの産卵が行われています。ウミガメの邪魔をしない程度に、夜間ライトを持って見に行ってみてはいかがでしょうか。